

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 市民環境部 ）

部長名

廣瀬 高

達成度区分

◎：達成(100%以上)

○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)

△：未達成

×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
1	市民との協働によるまちづくりの推進	①協働事業の充実を図り、協力して地域課題の解決に取り組みます。	◎	「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」制度を継続し、行政提案型部門のテーマに「市制施行70周年記念事業」を新たに設定し、市民提案型部門と併せて、採択を受けた8団体が実施する地域課題解決のための活動を支援しました。 また、市内の団体が自主的に行う公益的活動を支援するため、軽トラックと音響器具等の無償貸し出しを開始しました。
		②自治基本条例の理念の浸透を図ります。	○	市公式ウェブサイトの新着情報や「市民協働のまちづくり」コーナーで、市や市民団体が実施するまちづくり活動等の情報発信を行いました。(平成29年4月1日から30年2月末現在での更新回数は142回) 平成30年1月からは、「WeLoveなると市民協働のまちづくりFacebook」を開設し、タイムリーな情報発信を開始しました。(2月末現在での更新回数は21回) 未来を担う子どもたちに「鳴門市自治基本条例」の理念を知ってもらうとともに、自分たちの住む鳴門市の魅力を知ってもらうため、小学生6年生の社会科等の授業に「子ども版自治基本条例パンフレット」を活用しました。
	【総括達成度】	◎	◎	市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、平成28年度の協働の取組状況及び職場内研修の結果について報告を行い、全庁的な情報共有を図りました。(28年度の協働事業数は159事業で、前年度比13事業増。) 平成29年度は、「広げよう協働で進めるまちづくり～『なると第九』100周年を盛り上げよう！～」をテーマに、平成30年1月9日から2月16日まで、全職員を対象に職場内研修を実施しました。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 市民環境部 ）

部長名

廣瀬 高

達成度区分

◎：達成(100%以上)

○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)

△：未達成

×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
2	「第九」アジア初演の地ブランド化プロジェクトの推進	①児童・生徒が「第九」に係る歴史と文化への理解が深まる教育を推進します。	◎	教育委員会が実施する小学生児童を対象とした、ドイツ館を中心とした「なると第九」ゆかりの施設及び史跡の訪問や、「なると第九」学習活動事業と連携し、市内の幼稚園4園、小学校5校、中学校1校において「なると第九」次世代育成事業を実施した。歴史的背景の学習は、各幼稚園と中学校において講師を派遣して行い、「歓喜の歌」の合唱指導は、各幼少中に対し、原語(ドイツ語)で合唱ができるように、講師を派遣し指導を行った。次年度からは各小学校及び小学校音楽部会へ講師を派遣し、合唱指導等を行い、小学校が中心となった指導を実施する。
		②「なると第九」の魅力を広く周知することにより集客促進と賑わいの創出を図ります。	○	「なると第九」についての移動パネル展を行うとともに、100周年記念についての広報周知を図るため、阿波踊り会館や渦の道、阿波おどり空港など市外の集客のある施設において、一定期間実施した。 また、四国放送と連携し、テレビ放送を通じた広報周知により「なると第九」関連地をめぐるウォーキングイベントを3回開催し、市外から多くの集客があった。 さらには、FMラジオ放送において、「なると第九」と地域とのかかわりの歴史やラジオドラマ制作を通じて情報発信することで、認知向上を図った。 ほかに、吉本クリエイティブエージェンシー(株)タレントの桂文枝氏に「なると第九」PRマスターに就任いただくとともに、「なると第九」を題材にした落語の制作が実現し、鳴門市文化会館での市制70周年記念公演PRのため、市長とともに大阪で記者会見を行った。
	◎	【総括達成度】 ◎	◎	「第九」100周年記念公演となる第37回「第九」演奏会のため、歴代のソリストから出演者を選ぶ、ソリストオーディション大会を積極的に周知し、集客に努めた。 第36回演奏会のリハーサルに一部の市内中学生を招待し、「第九」の演奏に触れ合う機会を提供した。 また、市内の小学校4校と徳島交響楽団ジュニアオーケストラの協力を頂き、100周年記念の子どもと大人のベートーヴェン「第九」交響曲第4楽章演奏会の準備を進めた。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 市民環境部 ）

部長名

廣瀬 高

達成度区分

◎：達成(100%以上)

○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)

△：未達成

×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
3	「なると環境プラン推進計画2017」の推進	①市民のニーズを反映した鳴門市環境基本計画実施計画を策定・推進します。	◎	昨年度に策定した「なると環境プラン推進計画2017」を基に、関係課課長で構成する「庁内環境会議」において、各課の事業実績と事業計画についてローリング方式により実施計画案を作成し、その後、市民でつくる「なると環境づくり推進市民会議」において協議していただき、市民のニーズを取り入れた「鳴門市環境基本計画実施計画」を策定し、この実施計画を公表するとともに推進しました。
		②「なると環境プラン推進計画2012」の進捗状況を把握したうえで、新たな実施計画の推進を図ります。	◎	「なると環境プラン推進計画2012」により推進した取り組みを総括・検証し、平成33年度までの5年間で取り組む「なると環境プラン推進計画2017」を昨年度に策定しました。 同計画により、本年を初年度として15項目からなる個別目標ごとの取り組み状況について、庁内各部署における実施計画を調査・検証しながら、全庁的な連携・促進を図りました。
	【総括達成度】	◎	◎	本市における望ましい環境像や環境づくりを提起した「なると環境プラン2004」における長期的な取り組みと、第六次鳴門市総合計画、鳴門市都市計画マスタープラン等との整合性を図りながら、社会状況や環境の変化に即応しながら5年間で取り組む「なると環境プラン推進計画2017」を昨年度策定し、同計画を推進しました。
4	風力発電ゾーニングマップの作成	①本市の自然環境や社会環境と調和を図った陸上風力ゾーニングマップを公表します。	◎	昨年度までに、WWFジャパン等との「再生可能エネルギーの導入促進に関する協定書」に基づき、風力発電導入についての研究を行うとともに、環境省の「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」を活用した風力発電有力地における生態系などの調査を行いました。 これらの結果から、今年度、風力発電施設の建設に伴うメリットやリスク等を多角的に検討し、その結果について「鳴門市における陸上風力のゾーニング評価マップ」として作成し、公表しました。
		②地域関係者、関係機関との協議等を行った上で適地を抽出し、洋上風力ゾーニングマップを完成・公表します。	○	環境省「風力発電等に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業」を活用し、里浦町沖の洋上風力導入の可能性について、一般社団法人徳島地域エネルギー、自然電力株式会社と共同で風況・鳥類・景観等の各調査を実施・検討し、洋上におけるゾーニング評価マップを完成させ、年度末に環境省に報告後、次年度に公表します。

◆ 平成29年度 鳴門市 各部長実行宣言（年度末報告） ◆

（ 市民環境部 ）

部長名

廣瀬 高

達成度区分

◎：達成(100%以上)

○：ほぼ達成(80%以上 100%未満)

△：未達成

×：未着手

No	重点項目	目標(何を、どうする)	各取組の達成度	達成状況等
5	鳴門市一般廃棄物処理基本計画策定事業	①今後の鳴門市における一般廃棄物の発生量の見込みを整理します。	◎	人口減少と就労者数の増加及び一人あたりのごみ排出量減少を基本として、これまでのごみ処理実績をもとに、平成30(2018)年度から平成44(2032)年度までの15年間の排出量の予測を行い、削減目標の設定を行った。
		②住民の要望・意見などを集約します。	○	無作為抽出により700人を対象に市民アンケートを実施し、市民からの意見、要望等をいただいた。 また、3月20日までパブリックコメントを募集しており、いただいた意見を参考に修正を加えることとしている。
	【総括達成度】 ◎	③国の指針等に基づき策定します。	◎	国の定めた「循環型社会形成推進基本計画」に基づいて、環境保全と廃棄物の有効活用及び資源生産性の向上に重きを置いた計画を策定した。 また、15年間の計画の中で、おおむね5年ごとに中間目標年次を定め、その時の社会情勢や廃棄物処理状況の変化などを考慮し、必要な場合には計画の見直しを行うこととしている。